

会 議 録

会 議 名	嵐山町男女共同参画審議会					
開 催 日 時	平成23年8月 4日 (木)			開 会	13時30分	
				閉 会	15時00分	
開 催 場 所	嵐山町役場 205会議室					
会 議 次 第	1. 開会 2. あいさつ 3. 議題 (1) アンケート調査結果及び各種事業の検証について (2) 計画の理念と体系について (3) その他 4. 閉会					
公開・非公開の別	公 開		傍聴者数	0 人		
非公開の理由 (非公開の場合)	/					
委員出欠状況	会 長	寺山サキ子	出席	委 員	新井 茂	出席
	会長代理	小林千枝子	出席	委 員	/	/
	委 員	宮本 紀子	出席	委 員	/	/
	委 員	千野 雅之	欠席	委 員	/	/
	委 員	藤野 哲男	出席	委 員	/	/
	委 員	松本 洋治	出席	委 員	/	/
	委 員	三神 典子	出席	委 員	/	/
その他出席者	/					
事 務 局	中嶋課長			吉田主査		
	内田副課長					

次 第	顛 末
1 開 会	中嶋課長
2 あいさつ	寺山会長
3 議 題	別紙のとおり
4 閉 会	

上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。

平成 24 年 2 月 14 日 署名委員 松本洋治

平成 24 年 2 月 14 日 署名委員 三神典子

1 開 会	(事務局)
2 あいさつ	(寺山会長)
※議題前に	(寺山会長) 会議録署名委員の指名 松本洋治 三神典子委員
3 議 題 (1) アンケート調査 結果及び各種事 業の検証につい て	<p>(事務局) アンケート調査結果について、主なものの分析結果報告。</p> <p>(寺山会長) 記述してくれた人の多さに驚いた。町に対して意見を言う人が多かったという印象を受けた。</p> <p>(宮本委員) 埼玉県や嵐山町の男女共同参画条例や制度について知られていないのは、国の制度と違ってマスコミ等の報道がないということと、自分から条例等を見ようとしていないため、周知度が下がったのではないかと。問5については、役割分担を追加することによって、家庭の実態がみえたのではないかと。問7では、社会環境を整備して、女性の働く環境が求められているのではないかと。DVの男女比について後で教えてほしい。</p> <p>(新井委員) この集計を基に、町はどのような考えで進むべきなのか。われわれ委員がどのような役割を果たすべきなのか。集計が出たので邁進していきたい。</p> <p>(小林委員) 2000サンプルで50%近い回収率はすごい。また男女別の資料があって助かる。前回と比べてどうかという点について見てきたが、結構変わってきていると感じた。DVの中でも力については、男女別にみると男性のほうが多いが、脅すとか性的暴力については男性のほうが少ない。自由記述の問4、5について、半数以上の方が60歳以上で、自分が思っていたのとは違って、できる方が人がやればよいという記述が多かったのが意外だった。男女共同参画という言葉がまだ普及していないので、もう少しやさしい言葉に置き換えて伝えていけたらいいのではないかと。それから、どのように変わっているのか情報提供していくことが必要ではないかと。</p>

(三神委員)

回答の5ページでの70歳以上の男性の意見に感動した。近所の方でリタイアした方を見ているが、今日のご主人が炊事当番で、奥さんは友達とランチ。こういう姿を見て、なんとなく納得。嵐山町も年配の人に学びつつ、変わっていくのかなと思った。

(松本委員)

男性が外、女性は家庭ということはない。男女共同参画という言葉も、少し変えていったほうがいいのではないかな。古い感じがする。記述がこれだけあるということは、みなさんの意識がこれだけあるということではないかな。書くということは、意識がないと書けない。回収率も高い。男女共同参画という言葉はわからなくても、中身についてはとても意識がある。

(藤野委員)

昔と比べて、改革してきているのかなと思う。多少色々な面で改善しなければならぬ部分はあるが、みなさんが男女共同参画に対する見方が変わってきているのかなと感じた。しかし、仕事面については、公務員などは意識されていると思うが、一般の会社ではまだまだと感じる。介護の面では女性は大変だが、男性も以前と比べれば努力しているし、変わってきているのかなと感じる。

(寺山会長)

色々な意見を出してもらえたことは凄いいことだと思う。私たちがいかにきちんとした情報を発信していくかが大切だと思った。きちんと浸透している人には浸透している。言葉だけで内容を理解していない人がいることも感じた。

(宮本委員)

男性の70歳代の方が結構しっかりした意見を書いているのに驚いた。総合振興計画について書かれている意見もあり、色々見ていただいている。しっかり考えて町に伝えたいという人が多いということに驚いた。

(三神委員)

集計表の中の意見で疑問文や間違った認識をしているものについて、どのような対応をしていくのか。

(小林委員)

DVを受けたときの相談に対する質問については、相談先をあげておけば、こういう所へ相談に行けばいいと思うので、そのような情報を追加していけばいいのではないかな。

(宮本委員)

法律が平等になっていないと書いている人がいるが、平等になっていることを知らないのだから、情報提供が必要である。

(寺山会長)

情報を提供することがいかに大切か、どんなことにも共通します。役場の入口にも、ここに行けばこれがわかりますというような情報を提示してはどうか。

(小林委員)

提案までしている記述については、次のプランの練り直しや今年度の課題になるのではないか。いただいたご意見を基に、できることはすぐに対応していくべきではないか。

(寺山会長)

9 ページの70歳男性の意見は、まさにそのとおり。

(三神委員)

先輩から学ぶということ。また、20代の人意見について見てみると、考えている人もいれば、知らなかった人もいるし、意見が少ないのも残念。これからの世代に初歩的などころから教えていくべきではないか。これからの担い手に、男女共同参画を理解してもらわないといけない。

(小林委員)

「男女共同参画とは何？」とよく言われる。概念としては知られていても、自分たちの生活の中では、どういうことなのか。生活全般に係わることだけど知られていない。女性の人だけに有利な制度というように思われている。自分のやりたいことがやれるということだと思う。まだまだPRが足りない。

(新井委員)

HPにはどこからどこまでさせるのか。意見も公表できればいいのではないか。

(宮本委員)

記述の公表は難しいのでは。

(小林委員)

自由記述をそのまま出すということは、町としてはこれに答えなければならないので、このまま出すことは避け、まとめてから出したほうがいいのではないか。

(藤野委員)

相談場所がわからないなどの意見もあるので、相談先などはお知らせしたほうがいいのではないか。答えられるものは出したほうがいい。

(小林委員)

パソコンをやらない人への周知方法はどのようにするのか。

(新井委員)

グラフだけでも公表してはどうか。

<p>(2) 計画の理念と体系について</p>	<p>(松本委員) グラフとともに相談先等についても回答してあげてもいいのではない か。</p> <p>(事務局) 議題(2)の基本理念と施策の体系について、事務局案を説明。</p> <p>(中嶋課長) 事業評価について、各課の捉え方にばらつきがあることから、各課に近 いうちヒアリングを行い、完成品の実績評価表を後日送付する。 今後の進め方について、実施計画の中身について委員さんの意見を含め てご審議いただくこととなるが、事務局としてはこう言ったところを手 直ししてはという案をもっている段階なので、改めて送付させていただ きたい。 もう1つ、事務局として見直しをした案です。今後こういった形で お示ししていただきたい。 次回の会議に際して、この中身について再度見直しをお願いしたい。</p> <p>(寺山会長) 今後はそのような形で進めていきたいと思えます。</p> <p>全員了承。</p>
<p>(3) その他</p>	<p>(中嶋課長) 事務局でアンケートの結果を受けて作成した案を送り、次回会議を開催 したい。それにより意見を次回伺いたい。</p>
<p>(4) 閉会</p>	<p>(事務局)</p>